



ENVIRONMENTAL
REPORT

2017

青梅ガス株式会社
環境報告書





Ome Blue

青梅ガス株式会社は、Ome Blue のサポーターです。

「Ome Blue（青梅ブルー）」は、青梅に住み、働き、活動するすべての人々が、それぞれの立場の自由な発想で参加可能な地域プロモーションです。

青梅の歴史と伝統が織りなす Ome Blue ——

かつて、江戸で人気を誇りまちを藍色に染めた織物、それはこの地で織られた「青梅縞」でした。染め重ねるごとに深みを増していく藍色と織物、酒造、寺社、芸術、食... 豊かな自然の中、歴史と文化を織り重ねてきた青梅。

Ome Blue の青（Blue）は、青梅縞の「藍色」、青空、溪流、若葉、青果等の「青色」、そして何より青梅の「青」を表しています。

この地で生まれ育った人々の歴史や伝統、文化を織り重ね、現在、そして未来の青梅へつないで行く、というメッセージも託されています。



ごあいさつ

先日、NHKのBS1チャンネルで「シリーズ“脱炭素革命”」という番組が放映されていました。その中で、機関投資家が脱炭素を目指す企業に投資を移行し始めており、企業側も100%再生可能エネルギーによる事業運営を目指す(RE100)などで、格付け機関の評価を高めるような取り組みを始めていると紹介されていました。そして番組の中では、日本はこれらの取り組みにおいて世界に大きく後れをとっているという指摘がなされていました。

確かに、パリ協定を守るためには、再生可能エネルギーの迅速な普及が不可欠です。しかし、地球温暖化の対策を市場原理だけに委ねるというのにはあり得ない話です。例えば、製鉄や化学のようにどうしても大きな熱を必要とするような業種では、100%再生可能エネルギーによる事業運営を実現するのは容易ではありませんし、集合住宅においては戸別に太陽光パネルを設置するのは困難であり、再生可能エネルギーの導入に直接貢献することはできません。だからといって市場原理でそれらを切り捨てるというのにはあり得ないからです。ですから、やみくもに再生可能エネルギー100%を目指せというのはあまりにも短絡的です。対応しやすい業種や家庭ではどんどん再生可能エネルギーの導入を進めていただく一方で、簡単には対応できない業種や家庭に対しては、ある程度の猶予を認め、例えば社会全体で再生可能エネルギー80%を目指すというような現実的な考え方が必要になってきます。もちろん、エネルギーへの経済的な負担は全ての業種や家庭で均等にするということが前提となりますが。さらには、化石燃料を燃やした際に発生する二酸化炭素を回収して埋め戻すという技術や再生可能エネルギーを使って生成した水素を結合させて、カーボンフリーなメタンを製造する技術も検討されており、化石燃料を「座礁資産」などと見放すのでなく、色々な選択肢を追求していくことも大切だと考えます。

青梅ガス株式会社 代表取締役社長 中村 洋介



概要

■ 会社概要

所在地 [本社] 東京都青梅市新町8丁目8番地の13
[事業所] 東京都青梅市末広町2丁目10番地
設立 1960年(昭和35年)
資本金 45,000,000円
事業内容 1. 都市ガス・簡易ガス供給、販売
2. CNGスタンド及びLPGスタンドの運営
3. ガス機器の販売及び設置
4. ガス配管工事の設計・施工及び施工管理
供給区域 青梅市内及び近隣市町村
従業員数 67名

■ 対象域間

2017年1月～2017年12月

■ 対象範囲

本社・事業所・付臭施設及び供給設備



■ 都市ガス供給範囲



東京都青梅市のうち

天ヶ瀬町／今井2・3・5丁目／今寺1・4・5丁目／裏宿町
大柳町／勝沼1～3丁目／河辺町1～10丁目／上町
塩船／新町1～9丁目／末広町1・2丁目／住江町
滝ノ上町／大門1～3丁目／千ヶ瀬町1～6丁目／仲町
長淵4・7丁目／西分町1～3丁目／根ヶ布1丁目
野上町1～4丁目／東青梅1～6丁目／吹上／藤橋3丁目
本町／森下町／師岡町1～4丁目

■ 都市ガス業種別販売量

家庭用	36.3%	6,772,060m ³
商業用	7.2%	1,336,739m ³
工業用	40.1%	7,493,490m ³
その他	16.4%	3,074,332m ³

■ メーター取付件数

家庭用	95.3%	21,035件
商業用	2.9%	643件
工業用	0.3%	76件
その他	1.5%	324件
合計		22,078件



■ 環境理念

青梅ガス株式会社は、資源とエネルギーの有効的活用を図り、公益事業者として環境関連法令及び「東京都・青梅市環境基本条例」を遵守し、自然環境に恵まれた街との調和を図り、豊かで安全な地域社会の実現に貢献します。

併せて、我々は企業活動を通じて、地域と地球環境保全に深く関わっていることを認識し、環境に優しい天然ガスの安全で安定した供給を行い、且つ資源とエネルギーの効率的利用を推進することにより、地域社会の発展に貢献します。

■ 環境方針

当社は、以下の事項を「環境方針」と定め、環境保全の推進に貢献します。

1. 環境負荷の低減・温室効果ガス排出削減及びエネルギーベストミックスによる省エネ・節電への取り組み
 - (1) 環境にやさしい天然ガスの普及促進を図ります。
 - (2) 低環境負荷型機器の普及に努め、効率的なエネルギー使用を推進します。
 - (3) 社内活動全般について、省資源、省エネ活動を展開し環境保全を推進します。
 - (4) 企業活動に伴い発生する廃棄物の抑制及び再利用、再資源化に取組みます。
 - (5) 省エネ・節電対策について、地域社会への情報提供及び啓蒙活動を推進します。
2. 環境マネジメントシステムに基づく取り組み
 - (1) 環境マネジメントシステムを確立し、継続的な改善活動を行うことにより、汚染の予防及び環境保護を推進します。
 - (2) 方針に基づき環境目的及び環境目標を設定し、定期的見直しを行います。
 - (3) 環境パフォーマンスの向上の為、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
3. 法令等の遵守

環境関連法令及び当社が同意する日本ガス協会等の関係組織によるその他の要求事項を遵守します。
4. 地域環境活動への参画

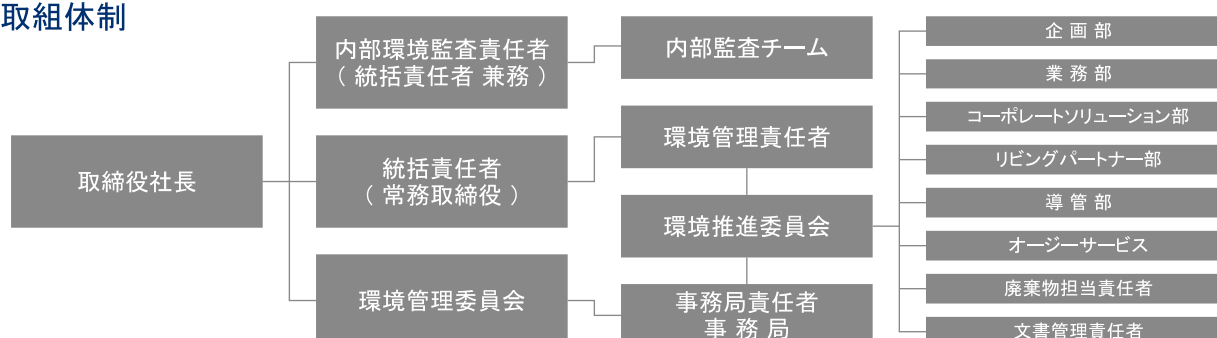
地域環境活動へ積極的に参画し、快適な社会の実現に貢献します。

～ この環境方針は、全従業員に周知すると共に一般に公開します。～

■ 中期計画(2017～2019)

企画部	業務の見直し、および、改善による効率化
業務部	業務の効率化・コスト削減・CS向上に関わる改善を3年間で9件以上実施
コーポレートソリューション部	① 家庭向けの普及率75%以上への挑戦(第3の熱変)普及率アップに向けての新設獲得 ② 高圧、業務用小売電気事業の営業提案活動 ③ 業務用、産業用向けガス拡販営業提案活動
リビングパートナー部	① 青梅ガスグループ需要家のうち、10%の契約に向けての電力小売り事業の展開(1,500件) ② 家庭向けの普及率75%以上への挑戦(第3の熱変)普及率アップに向けての転換獲得225件
導管部 保安G 導管G	ガス漏れ通報案件対応及びフォロー対応検討 中間圧導管の中圧B化計画(末広事業所より市立総合病院)
(株)オージーサービス	家庭のコンシェルジュの育成

■ 取組体制



■ 環境負荷の低減

1. 環境にやさしい天然ガスの普及促進を図ります。
燃焼時に二酸化炭素(CO₂)の発生量が石油や石炭に比べ少なく、硫黄酸化物(SO_x)を含まない天然ガスの普及促進を図ることにより、地球環境保全に貢献しています。
2. 省エネルギー型ガス機器の普及推進に努めます。
自宅で発電し、その際に生じた熱を給湯や暖房に利用する家庭用ガスコージェネレーションシステム「エネファーム」の販売も行っています。さらに、エネファームやエコジョーズ(高効率給湯機器)と太陽光発電システムを組み合わせでご提案することで更なる快適エコ生活をご支援して参ります。ひとつのエネルギーに依存せず、いろいろなエネルギーの特性を活かして効率的に利用するエネルギーベストミックスで暮らしとエネルギーのより良い関係をご提供いたします。



3. 省資源、省エネ活動を展開し環境保全を推進します。
青梅ガスでは地域を電力不足から守るというミッションのもと、2012年に社屋に太陽光発電を設置。2014年にはさらに太陽光発電の増設を行い、社屋で使用している空調ガスヒートポンプ(GHP)も太陽光発電した電力を使用できるように回線を変更致しました。太陽光発電は社屋の総消費量の約8.8%をまかなっています。
4. 廃棄物の抑制及び再利用、再資源化に取り組めます。
社内では会議等でのペーパーレス化を推進し、廃棄物の抑制に努めるとともに、発生した廃棄物の分別にも力を入れ、資源として排出できるよう努めております。
5. 社内全体での二酸化炭素排出量削減に取り組めます。
社内業務活動において、廃棄物分別促進による排出量低減・水道やガスの使用の抑制・非稼働時の照明の消灯・社用車のアイドリングストップ推進等によりCO₂の排出量を抑えるよう取り組んでいます。



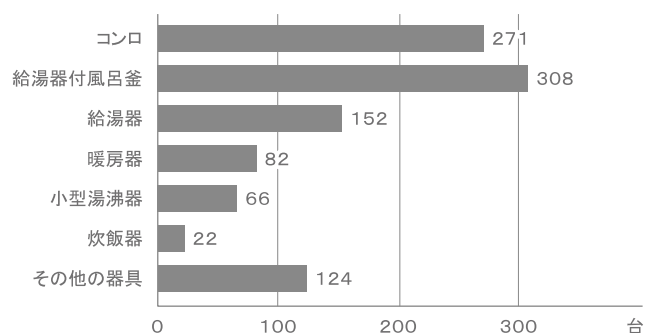
■ エコ・ステーション

天然ガスは、自動車の燃料としても使われています。天然ガス自動車(NGV)は、ガソリン車と比較して約20~30%のCO₂排出量低減が可能とされており、そして、環境保全への取り組みに注力される多くの企業・団体様が業務・営業車両として導入をすすめ、その普及台数も年々増加しております。青梅ガスは、天然ガス自動車(NGV)の燃料となる圧縮天然ガス(CNG)を充填する「天然ガス・エコステーション」を有し、都市ガスとして供給している天然ガスをコンプレッサーで圧縮しNGVに搭載された燃料タンクへわずか数分で充填しています。

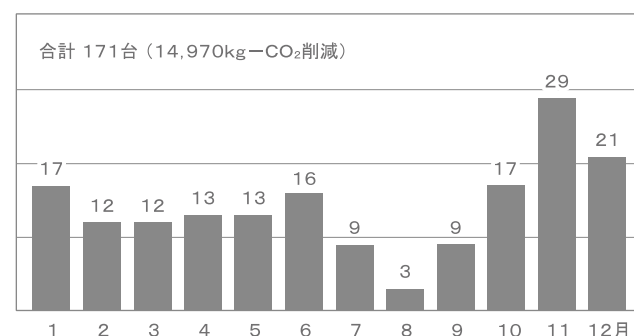
	契約台数	利用車輛数	充填台数	充填量(m ³ N)
1月	277 (13)	99 (13)	777 (39)	17,540.4 (434.3)
2月	276 (13)	107 (13)	709 (46)	15,419.8 (492.1)
3月	276 (13)	94 (13)	759 (56)	16,398.0 (597.2)
4月	273 (13)	103 (13)	699 (53)	14,467.5 (577.4)
5月	271 (13)	100 (13)	748 (50)	15,324.8 (520.8)
6月	269 (13)	95 (13)	749 (63)	15,253.5 (662.2)
7月	267 (13)	95 (13)	769 (61)	16,251.5 (633.2)
8月	265 (13)	102 (13)	767 (58)	16,415.1 (578.6)
9月	263 (13)	92 (13)	715 (52)	15,077.8 (532.2)
10月	261 (11)	87 (11)	653 (34)	13,509.5 (367.7)
11月	259 (11)	91 (11)	635 (32)	12,796.6 (347.3)
12月	257 (11)	85 (11)	660 (37)	14,043.8 (402.3)

()内数値は自社車輛分

■ 省エネ型ガス機器販売台数

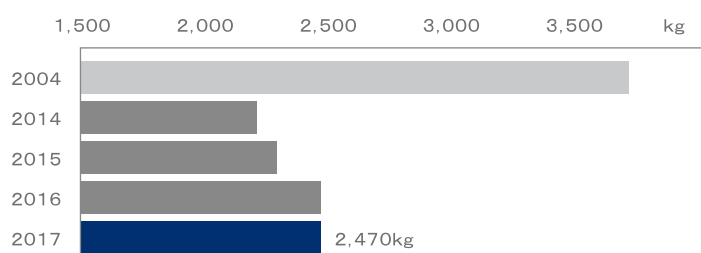


■ エコジョーズ販売台数



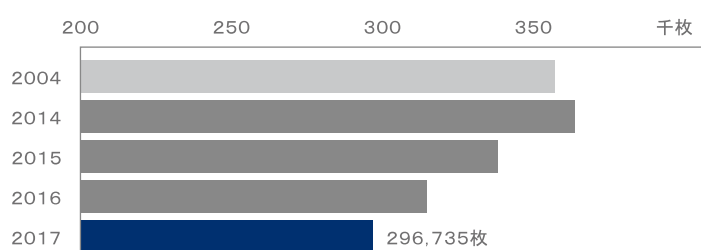
■ 廃棄物年間排出量の推移

本年は削減開始時の2004年に比べ、33.6%削減した結果となりました。今後も排出方法等の見直しを行い、排出量の削減に努めます。



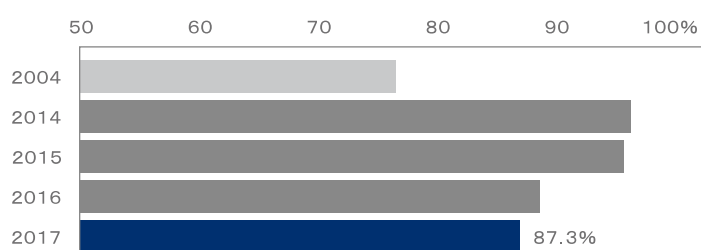
■ 紙の購入量の推移

本年は削減開始時の2004年度に比べ、17.0%削減した結果となりました。今後も書類のデータ化等を推進し、削減に努めます。



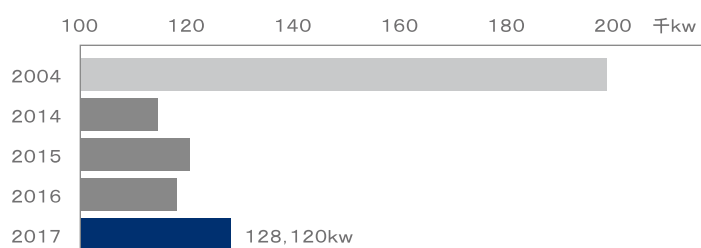
■ グリーン購入率の推移

購入時に対象商品の見直しを行い、グリーン購入率は87.3%となりました。今後も随時見直しを行い、グリーン購入推進に努めます。



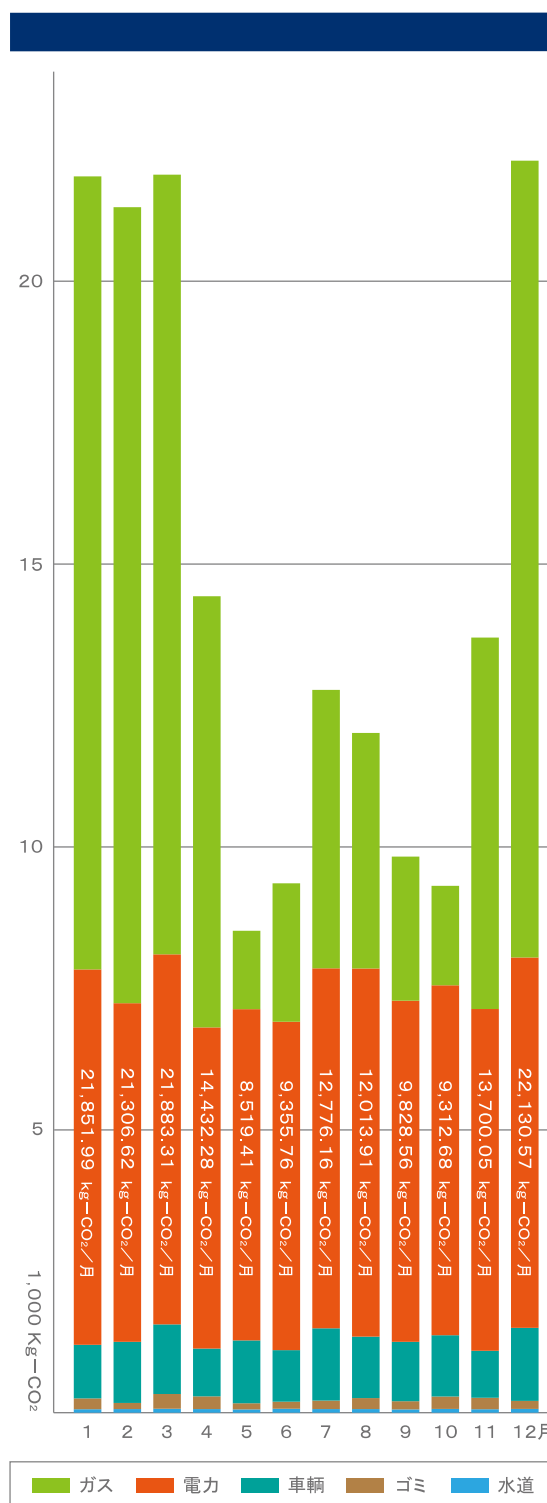
■ 電気使用量の推移

本年は削減開始時の2004年に比べ、35.4%削減となりました。社屋に設置した太陽光発電システムにより、自然エネルギーを利用した削減効果が表れています。



■ 二酸化炭素排出量(項目別)

ガス	87,362.00 kg-CO ₂ /年
電力	74,168.93 kg-CO ₂ /年
車輦	12,741.70 kg-CO ₂ /年
ゴミ	2,074.80 kg-CO ₂ /年
水道	763.86 kg-CO ₂ /年



■ 東京都家庭の省エネアドバイザー事業

青梅ガスでは、東京都から「東京都家庭の省エネアドバイザー制度」統括団体として認定をうけ、省エネアドバイザー38名が在籍し、ご要望頂いたお客様のお住まいに訪問し、家電製品別の節電方法やCO₂削減効果などを分かりやすいパンフレットを使ってアドバイスしています。



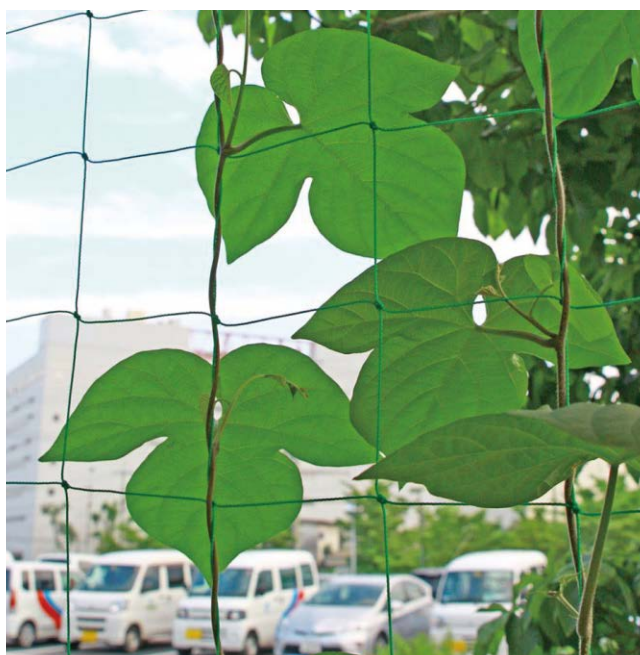
■ 事業所近隣の清掃活動

毎月1回、本社および末広事業所近隣の路上清掃活動を実施しています。この活動を通じて各社員の環境に対する意識向上を図るとともに、この活動が将来的に近隣の皆様との環境コミュニティとして成長することを期待し活動しています。



■ 青梅市みどりのカーテンコンテスト

青梅市・JA西東京との共催で「みどりのカーテン」の育成内容を競うコンテストを毎年開催しています。また、青梅ガスの社屋においても、朝顔の「みどりのカーテン」を実施。「みどりのカーテン」は夏の日射しを遮り周辺気温を下げる効果があり、夏期の節電を地域一体となって推進していきたいと思ひます。



**平成29年度
みどりのカーテンコンテスト参加者募集**

みなさんが家庭や職場で育てた「みどりのカーテン」でコンテストに参加してみませんか？
優れた作品を表彰します。ぜひご応募ください。

<応募期間>
平成29年8月1日(火)から8月31日(木)まで

<部門>
個人部門（住宅に設置）
団体部門（事業所、学校、施設等に設置）

<応募資格>
今年、青梅市内でみどりのカーテンを設置していること。
育成する植物の種類はつる性の1年生（ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラ、ヘチマ等）
カーテンの設置幅が1.8m以上であること。

<応募方法>
応募用紙に必要事項を記入し、みどりのカーテンの設置状況がわかる写真を基付のうえ、ご応募ください。応募用紙は市役所、市民センター、中央図書館で配布します。また、青梅市のホームページからもダウンロードできます。

このチラシ裏面の応募用紙もご利用いただけます！

- 写真は正面全容を写したものを含め上図3枚まで。裏面に応募者名を記入してください。
- 百葉様の開閉上、応募用の写真に人物を写さないでください。
- 広報やホームページで紹介させていただくことがあります。
- メールによる応募の場合、容量は5メガバイト未満にしてください。
- 応募書類は返却できません。
- 応募の際いただいた個人情報厳重に管理し、当コンテストの目的以外に使用しません。

<応募先>
持 参 青梅市役所3階303番窓口 環境部環境政策課管理係
平日の午前8時30分から午後5時15分まで
郵 送 〒198-8701 青梅市環境部環境政策課管理係
メール…メールアドレス div1310@city.ome.tokyo.jp
タイトルを「みどりのカーテンコンテスト」としてください。

<審査>
応募書類をもとに審査を行い、最優秀賞、優秀賞等を決定します。受賞者には、表彰について直接お知らせします。
審査結果は、広報おうめ、青梅市ホームページで発表する予定です。

共催 青梅ガス株式会社、西東京農業協同組合、青梅市



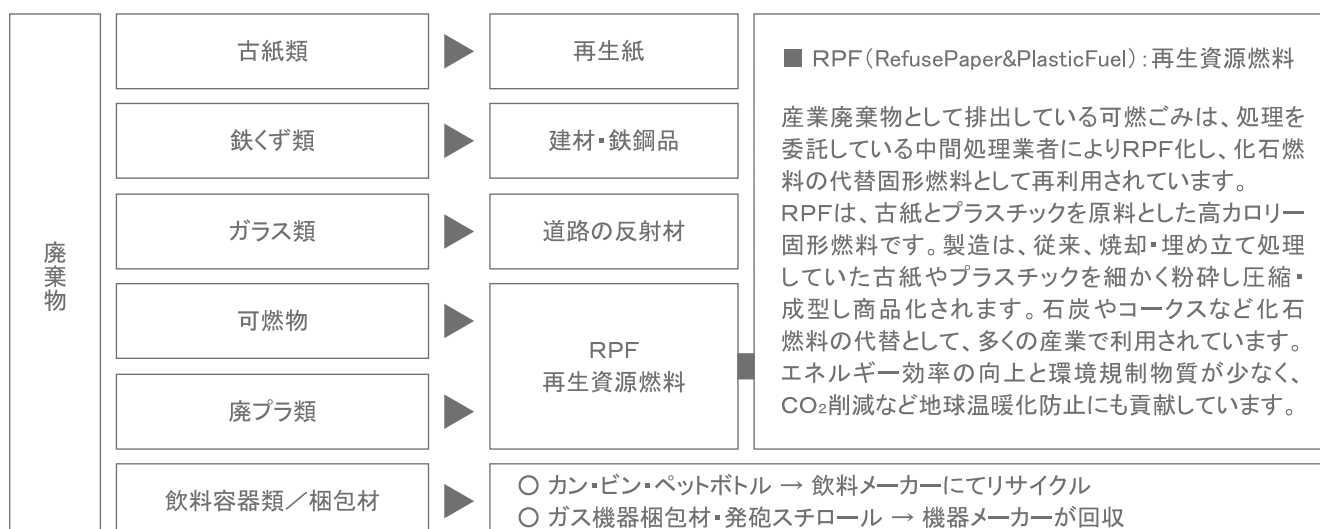
■ ガス工事産業廃棄物発生量

	廃棄物発生量(m ³)	新設管1m当り(m ³)
アスファルト	450.92	0.15
コンクリート	4.42	0.00
残土	1,708.37	0.55



▼ 新設管		▼ 撤去管	
PE200A	705.7m	PE200A	4.3m
PE150A	1,045.9m	PE150A	2.4m
PE100A	649.7m	PE100A	0.7m
PE75A	297.3m	PE75A	2.4m
PE50A	187.6m	PE50A	0.1m
PE30A	10.0m	KPW200A	10.9m
KPW200A	1.0m	KPW150A	94.6m
KPW150A	217.6m	KPW100A	45.9m
		VP100A	82.5m
		VP75A	252.8m
		VP50A	12.2m
		KFW150A	85.5m
		KPM80A	5.8m
		KPM50A	1.2m
		PLS32A	18.0m
合計 (A)	3,096.8m	合計	619.3m
発生量処分費		6,279,130円	
アスファルト処分費		582,800円	
発生材処分費		1,352,162円	
合計 (B)		8,214,092円	
処分費／本管敷設 (A)／(B)		2,652円／m	

■ 廃棄物のリサイクル



環境保全効果

環境保全効果項目			単位	2013年	2014年
自 社 業 務	公害防止効果	本社・末広事業所 NOx排出原単位 (都市ガス販売時に排出するNOx量)	mg-NOx/m ³	0.09	0.09
	地球環境 保全効果	本社・末広事業所 CO ₂ 排出量 (電気・ガス・水道・車輛・廃棄物)	kg-CO ₂	215,597.2	199,580.7
		本社・末広事業所 CO ₂ 排出原単位 (都市ガス販売時に排出するCO ₂ 量)	g-CO ₂ /m ³	9.5	9.3
		業務活動における 車輛使用時のCO ₂ 排出量	kg-CO ₂	16,159.5	14,839.2
		業務活動における 車輛使用時のNOx排出量	kg-CO ₂	2.17	2.02
	資源循環効果	業務活動において排出される 可燃ゴミ排出量 ※RPFにより再利用されています。	kg	3,280	2,210
需 要 家 先	需要家先での 環境保全効果	省エネ機器の拡販による CO ₂ 排出抑制量	kg-CO ₂	12,705	14,970
		他燃料からの転換による CO ₂ 排出抑制量 (一般家庭)	kg-CO ₂	10,920.0	9,300.0
		他燃料からの転換による CO ₂ 排出抑制量 (法人)	kg-CO ₂	—	—
		他燃料からの転換による CO ₂ 排出抑制量 (法人)	kg-CO ₂	71,653	973,768

環境保全効果項目			単位	2013年	2014年
自 社 業 務	廃棄物削減による 経費削減額	廃棄物排出量抑制による 経費削減	円	¥262,400	¥176,800
	掘削発生土の 排出量削減による 経費削減額	浅層埋設 掘削幅縮小工法の実施 (1m当たりの掘削土処分費)	円 (円/m)	¥8,871,292 (¥4,481/m)	¥10,592,095 (¥2,479/m)

【環境保全効果の算定について】

- ・一般家庭における効果算出は、4人家族で風呂に200L湯張り、シャワー、洗面、炊事にお湯を使用した場合を想定しています。
(株式会社ノーリツの給湯機器カタログにおける試算条件より)
- ・CO₂排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」による係数を使用しています。
- ・機器の熱効率、株式会社ノーリツのカタログに従います。灯油給湯器熱効率は、製造後10年の機器効率を使用しています。



2015年	2016年	2017年	環境保全効果
0.08	0.09	0.09	前年比 ±0.00 mg-NOx/m ³
186,770.0	187,664.8	177,111.3	前年比 ▲10,553.5 kg-CO ₂
9.6	9.7	9.5	前年比 ▲0.2 g-CO ₂ /m ³
12,377.3	13,238.1	12,741.7	前年比 ▲496.4 kg-CO ₂
1.73	1.84	1.71	前年比 ▲0.13 kg-CO ₂
2,290	2,470	2,470	前年比 ±0 kg
16,740	15,675	14,970	省エネ機器への取替推進によるCO ₂ 削減量
7,414.9	7,859.7	3,892.3	都市ガスへの転換によるCO ₂ 削減量
—	—	—	LPガスへの燃料転換によるCO ₂ 削減量 ※本年度は天然ガス普及に努めた結果、実績なし。
34,110	50,464	65,607	都市ガスへの燃料転換による効果

2015年	2016年	2017年	環境保全効果
¥206,200	¥246,000	¥247,000	前年比 1,000 円
¥6,447,625 (¥1,634/m)	¥8,270,710 (¥2,838/m)	¥9,095,325 (¥2,167/m)	前年比 ▲671 円/m

● 2017年のCO₂の排出削減量を杉の木の吸収量に換算すると！？

当社の主な事業活動において削減できたCO₂の量は[95,519kg-CO₂]となりました。
この削減効果は、杉の木[6,823本]に相当します。[95,519kg]÷[14kg/本]※÷[6,823本]
そして[6,823本]の杉林の面積を例えると、およそドーム球場[約1.7個分]に相当する広さです。

※ 参考資料:「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」





Ome Blue

青梅ガス株式会社は、Ome Blue のサポーターです。

青梅ガス株式会社は、特定非営利活動法人青梅市カヌー協会のオフィシャルスポンサーです。

